

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学： Karl-Franzens Universität Graz
留学先での所属学部・研究科： Germanistik
留学先での在籍身分： Joint Study Student
留学期間： 2015 年 10 月 1 日～ 2015 年 7 月 1 日
神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部情報コミュニケーション講座
学年（出発時）： 3年
本報告書記入日： 2016 年 7 月 5 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10 月 1 日

学年終了月日： 7 月 1 日

学期：

① 10 月 1 日～ 1 月 30 日

② 3 月 1 日～ 7 月 1 日

③ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

④ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

近くに芸術大学と工科大学もあり、スポーツなど一部の授業は合同で行っていました。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

大学併設の語学学校があり、休暇中も含めて通年で留学生向けのドイツ語コースが開講されていました。

勉学面でのサポート：

moodleが積極的に利用されており、講義の資料や参考資料をいつでも参照できるようになっていました。

精神面でのサポート：

制度としては特にありませんでしたが、留学生担当の先生が常に対応してくれるので安心感がありました。

住居・生活面でのサポート：

学校の手配する学生向けの住居に入居しました。手続きは学生チューターの手助けもあり到着日にすぐ済ませることができました。

課外活動のサポート：

制度としては用意されていませんでした。学校からのメールマガジンなどは多く送信されてきました。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

Wohngemeinschaftというキッチン等が共用で各自の寝室がある、という形式の住居に住むことになり、基本的に現地の学生との共同生活でした。特にトラブルなどはありませんでしたが、同居人によるところは大きいようです。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

手違いもあってクレジットカードの海外旅行保険だけだったのですが、不安が大きかったので死亡時保証だけでもいいのでしっかりした保険に入るべきだと思います。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

在留許可の申請のために現地の健康保険に加入しました。大学で加入手続きのガイダンスもありました。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

住居全体で契約していたインターネットを使用できたので、個人契約は必要ありませんでした。家賃にすべて含まれていたため別に料金を払う必要はありませんでした。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

校内の数か所に設置されていました。システムは日本語未対応でしたが、日本語で作成したファイルは問題なく開くことは可能でした。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通いませんでした。健康保険に加入していたので医療費は無料になっていたはずです。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

冬場は室内が暖房の影響でとても乾燥するので、風邪などを引きやすくなるかもしれません。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

キャッシュパスポートを利用しました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

休日にはお店が基本的に休みです。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

月に1回ほど、現地で日本語を学んでいる人たちとホームパーティーなどをしました。また週1でタンデムをしていました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

特に行いませんでした。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

治安はかなり良いです。学生が多いため書店なども内容が充実していました。観光客や留学生も多いため外国人には慣れているといった印象を受けました。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していません。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO 交換留学支援制度, 80,000 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

大使館ホームページ、現地学生との情報交換

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

基本的にはないと思います。女性なら、化粧品などは自分に合うものを持っていくとストレスがなくていいのではないのでしょうか。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（ ） 点→帰国後（ ） 点

とにかく飛び込んでみるという姿勢は身につけられたと思います。自分について考えることが増えたため、将来はむしろ不明確になったように感じますが、何をするにしても挑戦してみようと思えるようになりました。また文化の違いは常にあるものと考えようになりました。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

イタリアに行ったときにパスポートを持っていくのを忘れたことです。コピーがあったので何とかになりました。それ以降は常にパスポートを携行しました。絶対に気を付けてほしいところです。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

サポート体制は十分だったと思います。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

目標を立てて臨めば大きな成果を得られるものなので、希望する人にはぜひ行ってほしいと思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学： Karl-Franzens Universität Graz留学先での所属学部・研究科： Germanistik留学先での在籍身分： Joint Study Student留学期間： 2015 年 10 月～ 2015 年 7 月神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部情報コミュニケーション講座学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2016 年 7 月 5 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Deutsch Grundstufe 4, Niveau A2/2.Phase, Intensivkurs	Wagner-Nölle Mona	集中講義	6	15人前後	留学生向けの授業です。語学の授業と同じ心構えでいいと思います。
2	Deutsch Mittelstufe 1, Gruppe A, Niveau B1/1. Phase	Schraberger Antje	1	3	20人前後	留学生向けの授業です。
3	Deutsch Grammatiktraining ab B1	Mandl Christa	1	3	10人前後	試験がなく、プレゼンと出席で評価されました。
4	Deutsch Mittelstufe 2, Niveau B1/2.Phase, Intensivkurs	Wagner-Nölle Mona	集中講義	6	15人前後	留学生向けの授業です。
5	Deutsch Mittelstufe 3, Niveau B2/1. Phase	Seidl Eva	1	3	20人前後	留学生向けの授業です。
6	Deutsch, Sprachkompetenz 1, Niveau ab B1	Fasshold Gerlinde	1	3	10人前後	試験がなく、プレゼン出席で評価されました。
7	Einführung in die germanistische Sprachwissenschaft	Braun Christian	2	3		単位が取れなかったのであまりアドバイスはできませんが、moodleの配布資料を読み込むべきだと思います。
8	Grammatik I	Braun Christian	2	4		同上。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

私が履修した授業は大教室での講義と語学の授業のみです。語学の授業は毎回参加して宿題をやっているだけで単位はもらえます。講義は評価が試験のみなのでしっかり理解し、書けるようにしないと取れません。よく言われることですが、講義中にほかのことをしたり眠ったりする学生はいませんでした。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 20万円前後・住居費：（月額） _____ ×（留学月数） _____ ヶ月 = 40万円程度（年二回支払い）・食費：（月額） 30,000円 ×（留学月数） 11 ヶ月 = 30万円程度・保険料： 約6,000円（月額）・その他： 最低限必要なものは上記くらいですが、旅行に行くとなるとかなりかかると思います。合計： 100万円程度 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

留学を選択したこと自体には全く後悔はありませんが、もっと目標を明確に持って臨むべきだったと思っています。まずは留学前の段階で独語検定などの語学力の客観的な目標を設定し達成すること、帰国後に受験する際の目標を決めて留学先で学ぶこと、これをしないと中途半端にしか語学力は伸びません。語学以上のことを学ぶには絶対に語学力が必要なので、まず力をつけておくべきです。私はこれができていなかったのも、この点はとても後悔しました。現地の人と話す機会をなるべく多く確保することも重要です。留学生向けに大学がタンドムシステムを用意しているので積極的に参加していくといいと思います。

Facebook上に日本語を学んでいる現地の人たちや、グラーツに住んでいたり過去にグラーツを訪れた日本人のグループが作成されており、そこでイベントの情報を交換したりホームパーティーのお知らせを載せたりしていました。こういったSNSなどを活用すれば行動の幅も広がりやすく知人を増やすことも楽になるので、積極的に利用していいと思います。

グラーツはとても治安がよく、初めて海外に長期滞在するというひとにはかなりいい街だと思います。言語という大きな壁以外の障害が少なく済むというのは大きいです。人口に占める大学生の割合が多く、また留学生も多いため、街の人たちも慣れていて寛容に接してくれます。美術館や城、教会も多くあり、見どころもたくさんあります。

現在ヨーロッパではテロ事件などが相次いで起こっているので不安に感じる事が何度かありました。必要以上にストレスを感じないためにも簡単な対策や避難の心構えなどをあらかじめ頭に入れておくといいかもしれません。実際にその場面に出くわすことはめったにないとは思いますが、ないのが一番なのですが。また、治安がいいといっても危険な場所や人間には近づかないようにしなければいけません。置き引きやスリについても、日本で気を付けていることを徹底する、という態度でいるといいのではないかと思います。